

日本留学促進のための海外ネットワーク機能強化事業 アフリカ（サブサハラ）地域

2026年7月



STUDY IN
JAPAN
FOR AFRICA

対象国

アフリカ（サブサハラ）地域49か国中15か国を主な対象とする。

- ・南アフリカ、ケニア、ナイジェリア、ボツワナ、ガーナ、タンザニア、ウガンダ、ルワンダ、ザンビア、エチオピア、コートジボワール、ジンバブエ、セネガル、マダガスカル、モザンビーク

目標

- ・日本への留学生数を毎年100名ずつ増加させる
- ・2028年度末には25%増の見込み

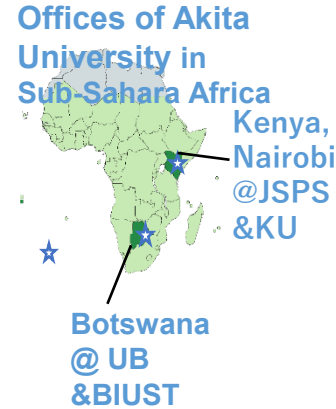
これまでの活動概要（令和6・7年度）

- ・ボツワナ国際科学技術大・ボツワナ大学学内に「秋田大学ボツワナ事務所」、ナイロビのJSPS内およびケニヤッタ大学内に事務所を設置
- ・オンライン日本留学フェアを開催し、約220名が参加（10月8日）
- ・南アフリカ・ステレンボシュにて対面による日本留学フェアの開催（参加者400名以上）（3月11・12日）
- ・マダガスカル、ザンビア、ボツワナ、ケニア、モザンビーク、ジンバブエ、エチオピア、南アの大学・高校を訪問し、留学説明会を実施

これからの活動概要（令和8年度）

- ・隔月でオンライン説明会（大学院・学部）を実施（6月16日・7月4日）
- ・MEXT奨学金のオンライン説明会を実施（5月11日）
- ・事業ホームページ、SNSを更新し、日本留学の最新情報を提供
- ・日ボツワナ国交樹立60周年に合わせ対面による日本留学フェア（ボツワナ）およびオンライン日本留学フェアを実施（9月19日～22日）
- ・各国大使館と協力して、さらなる情報提供の拡大を図る

問い合わせ先：秋田大学国際課
E-mail: africa@jimu.akita-u.ac.jp



留学生増加目標 （年間約100人の増加）



FY2025 主な取り組み・事業計画（ロードマップ）

FY2028

1. 留学生獲得に向けたリクルーティング活動

【留学生の確保の強化】

- ・留学生のニーズ把握
- ・日本留学の制度や日本語学習に関する情報発信
- ・留学申請に関する個別の相談受付

【日本国内の受入れの強化】

- ・留学生の受入れを希望する大学への情報提供
- ・受入れ大学の渡日前入試やWEB面接のニーズ把握

2. 留学に関する情報収集・発信

【情報収集の強化】

- ・現地の政府機関、教育機関、在外公館と連携し、各国の学生の日本留学に関するニーズについて情報収集

【日本の魅力発信の強化】

- ・留学フェアの開催
- ・在外公館及び他機関が主催する留学イベントにおける情報発信
- ・SNSやHPの活用等により、主に現地・日本の情報及び活動報告の発信

3. 帰国留学生とのネットワーク強化、協力深化

【ネットワークの強化】

- ・同窓会や帰国留学生の現状について点検・分析
- ・留学生の帰国後のキャリア状況の把握
- ・帰国/現役留学生が情報交換できるプラットフォームの構築

【協力の深化】

- ・帰国留学生によるSNS等での情報発信
- ・帰国留学生による留学フェア等での情報発信の協力
- ・帰国留学生による母国等での留学希望者の発掘